

皆さんへ

大学のカリキュラム（教育課程）では、90分の講義時間に対して、その前後に同等の自習（予習と復習）が必要とされています。その理由は、大学の学習内容が高校までのそれとは異なり、単なる暗記ではなく**応用力、判断力、実践力に基づく高い理解度**が必要であるからです。シラバス（Syllabus）の本来の意味は、「（講義などの）**摘要・概要・要旨・授業細目・時間割**」ですが、授業全体の設計図や学習・教育の指針と到達目標を皆さんに示すことによって、高い理解度で**自主的な学習**ができるように支援するものです。具体的には、個々の授業科目について**開講科目名、開講時期、授業の進め方、成績評価の方法、教科書の有無**等々を示した授業計画が示されています。これらの内容は、授業科目の選択、履修計画・方法の立案、定期試験対策などのための情報資料として役に立ちます。学期の初めには授業の時間割や学生便覧とともに利用すると効果が上がります。さらに、学期中においても常に携帯し、授業の進行ごとに**コア・カリキュラム**と科目履修の流れを確認すると一層の効果が期待されます。シラバスに示された項目や内容は、多くの資格認定基準に対応するように立案されていますので、シラバスは将来の進路選択のためにも**有用な情報資料**と言えます。

シラバスには本学創設の総意に基づいて独自の特色ある授業内容が盛り込まれています。学生諸君はその精神を理解し、シラバスに沿って勉学に励むとともに、4年間の研鑽を祈ります。